

下関市立大学広報



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2022年7月1日 第97号

発行：下関市立大学入試部広報課

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL.083-252-0288

FAX.083-252-8099

<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

下関市立大学 News & Topics

【 新学長挨拶 】

不透明な未来に立ち向かう決断力を育て
「なぜ?」に強い人材を輩出します!

第17代学長 韓 昌完

この春、高校3年生になった皆さんには進路選択という大きな決断の時がきていると思いますが、何をもちて選択しますか?

やりたい職業? 将来の年収や安定性? 得意分野?

近年の社会は変化が加速する一方で、特にAIの登場は人間の働き方に革新をもたらし、記憶や演算機能、データ予測を強みとしながら、学習させることでAIが小説や漫画までも世に出す時代になりました。今ある職業が未来にあるとは限らず、知識の豊富さや計算・予測の正確さはAIが遥かに勝っています。そのような社会で人間が持つべき生きる力は何かと問われると、「意味を問いかけて答えを出す力」だと思います。

下関市立大学は経済学部の単科大学として、60年余その英知を蓄積してきました。「経済学」の強みは、文理を超えた諸学問との高い融和性、人間の心理や行動を探るミクロ視点と社会全体の変化を捉えるマクロ視点の両面から物事を捉える思考、そして様々な活動をモデル化・数式化する経済学的手法にあります。経済学部で培われる視点と手法は、様々な場面で応用可能な課題解決力の土台となり得るのです。さらに本学は、地域及び国際社会の発展に寄与するべく、海峡の英知を昇華させて「データサイエンス学部(仮称)」をはじめとした新学部の設置に向けて準備をしています。

まだ進路に迷っているなら、ぜひ本学で学んでみませんか? 明確な答えがない不透明な未来だからこそ、4年後にくる新たな決断に必要な力を育て「なぜ?」に強い人材を輩出します。



【 第61回下関市立大学入学式 】

2022年4月5日(火)、本学体育館において第61回入学式を挙行了しました。式典は、午前(国際商学科、経済学研究科、編入学全学科)と午後(経済学科、公共マネジメント学科、特別支援教育特別専攻科)に分け、午前は国際商学科中村稀里さん、午後には経済学科田中菜月さんが新入生代表の宣誓を行いました。全体では、学部生479名(うち留学生9名)、編入学生20名、大学院生14名、特別支援教育特別専攻科3名の合計516名の新入生を迎えました。

充実した大学生生活の為にできること

経済学科1年 田中 菜月
(山口県立長府高等学校出身)

4月5日に行われた第61回下関市立大学入学式で、私は新入生代表の挨拶を務めました。新型コロナウイルスは収束していませんが、十分な感染防止対策をとり、入学式を迎えられたことを嬉しく思います。当日は新入生代表として気持ちが伝えられるか不安でしたが、入学式で挨拶する機会を頂いたことに感謝しています。

私は大学4年間で経済の仕組みや流れを学びます。また第一外国語として選択した韓国語の学習を積極的にやりたいと考えています。日本と韓国の文化や習慣の違いを知り、視野を広げたいです。

徐々に緩和されてはいますが、制限された生活の中で、ボランティア、サークル活動、アルバイトなどにも力を入れ、今しかできないことにチャレンジします。

最後に、教職員の方々、保護者の方々、これからもご指導、ご支援、心からお願い申し上げます。夢の実現に向け、日々努力していきます。



下関市立大学 News & Topics

【学位授与式】

2022年3月25日(金)、第57回卒業証書・学位記授与式を午前午後の2回に分けて挙行し、経済学科204名、国際商学科223名、公共マネジメント学科63名、大学院生3名の合計493名に学位が授与されました。午前は経済学科の岡田拓真さんが、午後は国際商学科の安道紫音さんが卒業生総代を務めました。

「学生から社会人へとなった今感じる事」

国際商学科2021年度卒業 卒業生総代 安道 紫音
(島根県立大田高等学校出身)

4月1日から社会人としての新生活が始まりました。入社式を終え、研修をしながら先輩社員の皆さんが働いている様子を見ると、社会の、そして組織の一員となったことを改めて深く実感します。

今、学生生活を振り返り、「もっと色々な場所に行って、色々な経験をすれば良かったな」と感じます。時間は有限ですが、大学生は自由度が高い期間です。コロナ禍で難しいかもしれませんが、興味のある事にはどんどん挑戦して自分の価値観や可能性を広げていってほしいです。そして出会った仲間を大切にしてください。これから辛いことがあった時も必ず助けになってくれます。あとは何より、学生生活を楽しんでください!

私も学生時代の経験を糧にして新社会人として頑張っていこうと思います!



「下関市立大学電子図書館」開館!!

5月2日より「下関市立大学電子図書館」がスタートしました。利用は学内の方に限りますが、学外からでも時間を問わずウェブ上で本を閲覧することができます。昨今のデジタル化の流れに加え、新型コロナウイルスに伴う様々な制限の中で少しでも図書館を利用させていただきたいとの思いにより実現しました。今後小説やガイド本、就活関連など一般教養を中心にコンテンツ数を増やし充実した電子図書館を目指していきます。



下関探検・防災ツアー・楽しい体験を

公共マネジメント学科1年 マイ ホアン ロン
(ベトナム・ブントウ出身)

入学後のオリエンテーションで、国際交流センターの先生のガイドのもと、先輩である留学生チューターや他の新入留学生と下関探検・防災ツアーに参加しました。最初は消防防災学習館「火消鯨」に向かうために路線バスにのりました。その日は天気が良く、青色に覆われた空の下は新緑の山、自然と一体になろうとしている建物が並び、穏やかな波に船を乗せた海峡など、移動中に下関の景色を見ることが出来ました。

「火消鯨」に到着し、地震の映像を見たり、火事からの脱出、救急救命、消火器での消火を体験したりしました。119番の通報の仕方や消防の各車両とその特徴、使い方なども教えてもらいました。皆と楽しく体験や視察ができました。

今回のツアーを通じて命の大切さを知り、地震が起こる前の備えや消火器の使い方など自分自身の命を守るための色々なことを学ぶことができて良かったです。特に救急救命の体験をしたことで、これから実際に倒れた人が目の前にいれば自分で助けることができるという自信を持つことができました。



新しい世界で、一緒に頑張ろう!

国際商学科3年 呂 朋
(中国・山東省出身)

遠く故国を離れ日本に来て、日々の生活やアルバイトなどの中で得た経験は、時には嫌なことや大変なこともありましたが、このような経験も含めた日本での異文化体験は、自国の文化を客観的に見つめる眼を養い、そして自分自身を改めて認識をする機会になっています。

外国語を学ぶことは、開放的で包容力のある性格の養成、異文化交流の意識を培い、異文化を理解する能力の育成に役に立ちます。今回ファシリテーターを務めている「中国語で交流して友達になろう!」のプログラムでは、今までの私の異国、異文化体験の中で得た経験も参加者にシェアしながら、中国語の習得はもちろん、新しいことにチャレンジする勇気も伝えたいと思います。

これから、みんなと一緒に頑張りながら、中国語での交流を楽しんで行きたいと思います。



下関市立大学 News & Topics

留学体験発表会に参加して

国際商学科2年 白川 希華
(下関商業高等学校出身)

4月26日に行われた、東義大学校・釜山外国語大学校への留学体験発表会に参加させていただきました。

以前より韓国留学に興味を持っており、実際の留学生活について詳しく知りたい気持ちは強くある一方で、コロナ禍ということもあり、本当に留学できるのかも分からない状況でした。そのような中で、こうして実際に留学していた先輩方のお話を聞くことができ、留学をより近いと感じられたように思います。

例年とは異なり、不安も多い中での留学であったのにも関わらず、努力を惜しまなかった先輩方をみて、目標としている韓国留学に向けて自分自身を奮起させるきっかけになりました。このような貴重な機会をいただけたことに感謝し、夢の実現へ向けて頑張っていこうと思います。



「フグシンポジウム(オンライン)」開催

2月9日(水)に、フグシンポジウム(オンライン)を開催しました。

今回のシンポジウムは、「下関ふくブランドの復権に向けて」と題し、2部構成で行いました。開催にあたり、東京大学名誉教授・北里大学海洋生命科学部の渡部終五特任教授からご挨拶をいただき、コーディネーターの本学経済学部の佐藤隆准教授から今回のシンポジウムの問題提起がありました。

第一部では、7名の講師の報告があり、第二部では、「下関フグブランドの復権へ向けての戦略的課題」をテーマに、引き続き講師陣とパネルディスカッションを行いました。参加者も討論に加わり、白熱したパネルディスカッションになりました。

平日昼間の開催にもかかわらず多くの方に参加していただき、大変実りあるシンポジウムとなりました。

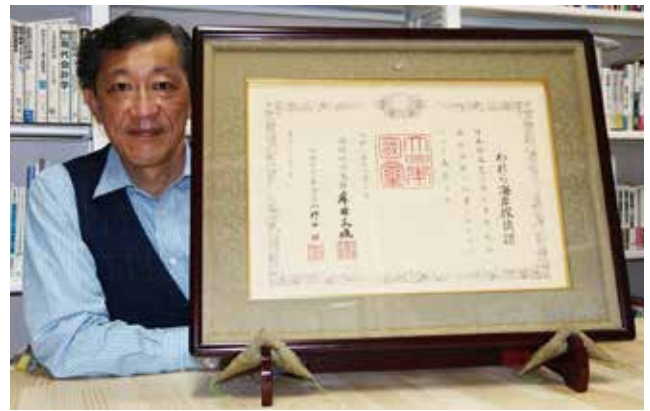


海岸清掃を続けて20年「緑綬褒章」を受章

教授 竹内 裕二

私は、2001年5月に「われら海岸探偵団」という、ちょっとふざけた名称の海岸清掃団体を結成しました。それから20年後の2021年11月3日文化の日(日)に日本政府から社会貢献活動を称える「緑綬褒章」を団体として受章させていただきました。人は、このような章を受章したと聞けば「さぞかし凄い活動」だと思いますが、そんなことはありません。その時々(トキトキ)の記録を取り続け、周囲に環境美化の大切さについて実践活動を通じて知らせただけです。この時点での通算活動回数：220回、参加人数：9,147人、回収量：176,448kgです。

読者のみなさん、この活動に一度参加してみませんか？ 私どもの団体については、右のQRコードから情報を取得することができます。



自著を語る

連載企画

『戦前期南氷洋捕鯨の航跡 マルハ創業者・中部家資料から』

花乱社 B5・216頁、2020年6月

特命教授 岸本 充弘

本書は2020年6月に日本アーカイブズ学会の出版助成を受けて刊行されました。本のタイトルにもなっていますマルハ創業者・中部家資料は、中部家から下関市立大学に寄贈された戦前の南氷洋捕鯨資料35点のうち、第二日新丸船団事業部長・中部利三郎が、昭和15年に出漁した際記した「昭和十五年／十六年度漁場日誌」の全文と日誌の解説を中心に、初の国産捕鯨母船「日新丸」積量図、南氷洋捕鯨用海図等多くの資料も紹介し、戦前の南氷洋捕鯨の実態に迫っています。

出版にあたっては、これらの資料を詳細に分析した紀要7本に大幅な加筆修正を加え、8年もの長い時間がかかりましたが、この漁場日誌を読み進むうちに、一緒に南氷洋を旅している不思議な感覚にとらわれます。ご興味がある方、ぜひご一読を!





学生団体新役員に聞く！ ～サークルなどの活動状況は？

学友会会長 国際商学科 4年 五反田 仁枝(左下)
(準硬式野球部・体育会 鹿児島高等学校出身)

文化会会長 国際商学科 3年 山中 笑里(右下)
(吹奏楽部・美術部・総合メディア芸術研究会 福岡県立戸畑高等学校出身)

体育会副会長 経済学科 3年 飯田 大地(左上)
(空手部 静岡県立榛原高等学校出身)

大学祭実行委員会委員長 公共マネジメント学科 3年 大原 拓海(右上)
(男子バスケットボール部・国際交流会ともだち 愛媛県立南宇和高等学校出身)



— まずは昨年の様子をお願いします。

五 学生全体では対面授業が再開されて、友達と会えたり活動も増えてきて、一昨年に比べると学生生活を楽しめるようになったとは思いますが、サークル活動の面では、元の活発な活動にほぼ戻れたサークルと、1年あいたが空いたことで引き継ぎができず、活動ができていないサークルがあって、差が大きいように思います。



山 秋学期ぐらいから感染者が増えて振り出しに戻ったような時期があり、それが先輩方の引退時期と重なって、引継ぎが大変だったのが印象的です。大学祭も中止になって、イベントごとがごっそり抜け落ちてしまったので、これから何をすればいいのか、モチベーションがすごく下がった気がしました。

大 大学祭は、入場を学内の学生だけにしたり飲食禁止にしたり、大分制限した上で開催する予定でしたが、いざやるぞってことになって、幹部が練った企画が自分達、当時の2年生とか1年生まで回ってきて、担当を決めたりしたところで、結局中止になりました。

飯 昨年は2年生だったんで、サークルが始まったのは良かったんですけど、クラスターが発生すると部活が中止になったり活動時間を短縮されたりと、コロナに振り回されたなっていう感じでした。

— 所属する空手部はどうでしたか？

飯 大会が全部出れなくなってしまって、先輩方の引退試合も無くなったので、今年出るって言ったりします。



— 山中さんの吹奏楽部は？

山 夏前の大会までギリギリ出れたんですけど、先輩方の最後が大学祭での演奏だったので、「引退することになりました」というLINEだけで、ヌルッと音もなく引退を確認するような形になってしまいました。

— 五反田さんは準硬式野球部ですね。

五 マネージャーです。元々引退が他のどのサークルよりも遅くて、4年生の4月の大会が敗退なら引退なんですけど、去年も全国大会が決まって、夏に一時的に活動できなくなりましたが、その後再開されたので、引き継ぎもできました。

飯 自分たちの代はコロナと一緒に入学した年で、サークルに所属してない人が非常に多く、授業も1人で受けてる人が多いと聞いたりするので、大学からも何か対応して貰えれば良かったと思います。

— どんなことを？

飯 SNSを活用するというサークルが多かったんですけど、DMを送ったり新入生の方からアクションを起こさないといけないのは、新入生にとっては難しいです。対面だったら、先輩から話しかけに行くので…。そういう機会をもっと作って欲しかった、というのがあります。

山 自分からアクション起こさないといけないっていうのは同意で、大学(の事務)から来るメールは絶対見ないといけないので、そういうメールにサークルの情報を載せて貰える機会があれば良かったなと。

— 今年はどうでしょう。まず学友会。

五 サークル勧誘のサークルセッションがスムーズにできて、今年の1年生は結構多くサークルに所属してくれてると思うので、できるだけ学生に向けた活動をしていきたいです。

— 文化会は？

山 昨年よりはアクティブに活動できているサークルが増えてきているので、それを後押しできるような、「どのサークルもそこまでいいんだよ」という雰囲気になっていけたらと思います。

— 体育会は？

飯 見た感じ1年生が多いですし、他の大学を呼んで練習試合をするサー

クルがあったり、去年や一昨年より活発に動いている感じが凄くあります。大学も感染対策をしながら積極的に動いてくれるのでありがたいです。

— 大学祭実行委員会は？

大 今年は、11月12・13日の2日間の開催になり、自分達幹部で話し合いを重ねて、やりたいことを大学側に提案することにしています。問題を指摘されたら改善を繰り返して、なんとかやりたいです。



— 例年はボランティアもやってたようですが。

大 去年はコロナウイルスで一切無かったんですが、今年は結構話が回ってきているので、ボランティアにも積極的に参加していきたいと思っています。

— 今後の予定を聞かせてください。

五 コロナ前のように全員を集めることはできませんが、対面で体育会と文化会一緒に学生総会ができるというゴーサインが出たので、サークル全部の代表者に出してもらうことになりました。まずそこから始めて、少しでも大学を良くしていく話し合いができればと思います。あと、この2年間活動ができなかった分、お金の面で余裕ができたので、できるだけ学生のために使えるように設備を整えたり、イベントを企画して学生が楽しめるようにしたいと思っています。

飯 体育会でも、有名なスポーツ選手の講演会を企画したりすれば面白そうです。そういうのをきっかけに「市立大学の体育会はこんなに活発だぞ」といったアピールをして、一般の学生にも参加してもらって、スポーツの魅力を感じられる企画を立ち上げていけたらと思います。

山 文化会は、正直、まだまだ立て直しの段階だと思っているので、今のところは、まずは各サークルから出た要望を反映して基礎固めから着々とやっていって、もし余裕が出てきたら、他のサークル同士の交流ができるような企画をしたいなと思っています。



大 自分達は、まずどんな形であれ、大学祭を開催するのが目標で、例えば小規模な活動になっても、次の代がやりやすい形で残してあげたいです。上の4年生もまだ1回しか見てないと言ってるので、とりあえず今年は絶対に開催したいです。

— それでは最後に一言お願いします。

大 今年は下関市立大学や大学祭実行委員会の名を刻めるような大学祭を開きたいので、協力や応援を宜しくお願いします。

飯 どのサークルも今年に入って積極的に動いてるので、これからもどんどん大会や対外試合をやって欲しいです。まだ入部していない学生も、どのサークルもまだ受け付けてると思うので、ぜひ入部して、スポーツの魅力や楽しさを感じてください。

山 3年生もまだ大丈夫というところが多分多いので、興味があるサークルに行ってみて欲しいのと、イベントや大会を企画したいと思っているサークルが多いと思うので、そういうのに協力できるように、いつでも結構柔らかい雰囲気や受け付けているので(笑)、些細なことでも相談してください。

五 学友会としては、サークルに入っていない一般の学生も支援対象なので、こういうイベントをしたいとか、こういう施設や機材が欲しいとか、どんどん要望を出して欲しいです。体育会や文化会のことも窓口になりますので、学友会のGmailやInstagramのアカウントから連絡をお願いします。



学友会 Instagram

— 5月20日、本学大会議室にて

2022年度入試実施状況

| | | 入試種別 | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 実質倍率 | 入学者 | |
|------------|-------------|----------|-------|-----|-----|-----|------|-----|----|
| 経済学科 | 学校推薦型 選抜 | 全 国 | 28 | 103 | 103 | 40 | 2.6 | 40 | |
| | | 地 域 | A | 29 | 39 | 39 | 29 | 1.3 | 29 |
| | | | B | | | | | | |
| | 一般選抜 | 前期日程 | A | 28 | 79 | 77 | 42 | 1.8 | 34 |
| | | | B | 28 | 134 | 125 | 46 | 2.7 | 34 |
| | | 公立大学中期日程 | 78 | 986 | 498 | 203 | 2.5 | 58 | |
| | 特別選抜 | 社会人 | 2 | 0 | — | — | — | 0 | |
| | | 帰国子女 | 2 | 0 | — | — | — | 0 | |
| 外国人留学生選抜 | | | (若干名) | 21 | 20 | 6 | 3.3 | 3 | |
| 第3年次編入学 | | | 8 | 40 | 33 | 11 | 3.0 | 9 | |
| 国際商学科 | 学校推薦型 選抜 | 全 国 | 28 | 73 | 73 | 35 | 2.1 | 34 | |
| | | 地 域 | A | 29 | 33 | 33 | 29 | 1.1 | 29 |
| | | | B | | | | | | |
| | 一般選抜 | 前期日程 | A | 28 | 89 | 86 | 43 | 2.0 | 33 |
| | | | B | 28 | 140 | 125 | 46 | 2.7 | 33 |
| | | 公立大学中期日程 | 78 | 714 | 299 | 203 | 1.5 | 95 | |
| | 特別選抜 | 社会人 | 2 | 0 | — | — | — | 0 | |
| | | 帰国子女 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1 | |
| 外国人留学生選抜 | | | (若干名) | 31 | 30 | 13 | 2.3 | 5 | |
| 第3年次編入学 | | | 8 | 21 | 14 | 6 | 2.3 | 6 | |
| 公共マネジメント学科 | 学校推薦型 選抜 | 全 国 | 8 | 26 | 26 | 12 | 2.2 | 12 | |
| | | 地 域 | A | 8 | 8 | 8 | 8 | 1.0 | 8 |
| | | | B | | | | | | |
| | 一般選抜 | 前期日程 | A | 9 | 11 | 10 | 14 | 0.7 | 11 |
| | | | B | 9 | 28 | 26 | 15 | 1.7 | 11 |
| | | 公立大学中期日程 | 24 | 289 | 144 | 37 | 3.9 | 8 | |
| | 特別選抜 | 社会人 | 1 | 0 | — | — | — | 0 | |
| | | 帰国子女 | 1 | 0 | — | — | — | 0 | |
| 外国人留学生選抜 | | | (若干名) | 2 | 2 | 1 | 2.0 | 1 | |
| 第3年次編入学 | | | 4 | 14 | 13 | 5 | 2.6 | 5 | |

※学校推薦型選抜・一般選抜前期日程の志願者は第1志望学科のみ計上しています。 ※学校推薦型選抜・一般選抜前期日程の合格者には第2・第3志望学科合格者を含みます。
 ※中期日程の受験者・合格者には新型コロナウイルス等特別配慮者を含みます。

2022年度合格者出身校

| | | | |
|------|--|------|--|
| 北海道 | 旭川西、札幌啓成、札幌東 | 山口県 | 厚狭、宇部、宇部中央、宇部フロンティア大学付属香川、小野田、下松、慶進、西京、サビエル、下関(中等教育)、下関北、下関商業、下関短期大学付属、下関西、下関双葉、下関南、新南陽、成進、田部、長府、豊浦、長門、梅光学院、萩、早稲、光、防府商工、山口、山口県桜ヶ丘、山口中央、山口農業 |
| 栃木県 | 大田原 | 徳島県 | 池田、城東、城ノ内、徳島市立、徳島文理、富岡西、富岡東、脇町 |
| 埼玉県 | 正智深谷 | 香川県 | 大手前高松、大手前丸亀、香川誠陵、観音寺第一、坂出、三本松、小豆島中央、高松、高松第一、三木 |
| 千葉県 | 銚子(市立) | 愛媛県 | 今治北、今治西、宇和島東、大洲、川之江、西条、済美、丹原、新居浜西、新田青雲(中等教育)、松山北、松山中央、松山西(中等教育)、松山南、三島、八幡浜 |
| 富山県 | 富山第一、滑川 | 高知県 | 高知追手前、高知小津、高知学芸、高知北、高知商業 |
| 福井県 | 大野、武生東、敦賀、若狭 | 福岡県 | ありあけ新世、糸島、小郡、折尾、香椎、嘉穂、嘉穂東、輝翔館(中等教育)、北九州、北九州市立、九州国際大学付属、九州産業大学付属九州産業、近畿大学附属福岡、鞍手、久留米、久留米大学附設、敬愛、光陵、高稜、小倉商業、小倉西、小倉南、自由ヶ丘、新宮、青豊、田川、筑紫、筑紫丘、筑紫中央、筑前、筑陽学園、東海大学付属福岡、東筑、戸畑、中間、東筑紫学園、東福岡、福岡大学附属若葉、福岡舞鶴、北筑、京都、宗像、明治学園、門司学園、門司大翔館、柳川、八幡、八幡中央、八幡南、山門、八女、八女学院 |
| 岐阜県 | 可児、岐山、岐阜商業(県立)、長良 | 佐賀県 | 伊万里、小城、鹿島、唐津西、唐津東、佐賀北、佐賀西、武雄、致遠館、鳥栖、三養基、龍谷 |
| 静岡県 | 聖隷クリストファー、浜松工業、浜松湖東、焼津中央 | 長崎県 | 諫早、大村、佐世保北、佐世保西、佐世保南、西陵、鎮西学院、長崎東、長崎北陽台 |
| 愛知県 | 阿久比、安城、安城東、小坂井、清林館、中部大学春日丘、中村、西尾、西尾東、半田東、横須賀 | 熊本県 | 熊本商業、熊本信愛女学院、熊本西、熊本マリスト学園、真和、第一、第二、東稜、必由館、人吉、御船 |
| 三重県 | 津田学園、津西、名張青峰、三重、四日市西、四日市南 | 大分県 | 臼杵、大分上野丘、大分雄城台、大分東明、大分西、大分舞鶴、大分南、杵築、佐伯鶴城、高田、竹田、中津北、中津南、日田、別府翔青、別府鶴見丘 |
| 滋賀県 | 石山、虎姫、水口東 | 宮崎県 | 高鍋、日南、日南学園、延岡、延岡学園、延岡星雲、鵬翔、都城泉ヶ丘、都城西、宮崎北、宮崎商業、宮崎第一、宮崎日本大学 |
| 京都府 | 京都橘、園部、田辺、西舞鶴、福知山、龍谷大学付属平安 | 鹿児島県 | 伊集院、出水中央、鹿児島中央、鹿児島南、加治木、加世田、鹿屋、鹿屋中央、喜界、甲南、国分、志学館高等部、樟南、川内、武岡台、椿隼、鳳凰 |
| 大阪府 | 追手門学院、追手門学院大手前、大阪青凌、春日丘、関西大倉、常翔学園、清風、清風南海、寝屋川、履正社 | 沖縄県 | 沖縄尚学、興南、首里、那覇、普天間 |
| 兵庫県 | 相生、明石清水、明石城西、明石西、尼崎北、小野、柏原、神戸星城、三田祥雲館、夙川、須磨学園、須磨東、龍野、東洋大学附属姫路、豊岡、長田、西宮(県立)、西宮今津、雲雀丘学園、姫路、姫路飾西、姫路西、姫路東、兵庫県立大学附属、葦合、御影、三木、八鹿 | | |
| 奈良県 | 天理、西大和学園 | | |
| 和歌山県 | 開智、海南、近畿大学附属和歌山、新宮、耐久、和歌山信愛 | | |
| 鳥取県 | 倉吉東、境港総合技術、鳥取西、鳥取東、八頭、米子東 | | |
| 島根県 | 出雲、大社、浜田、松江北、松江東、松江南 | | |
| 岡山県 | 岡山朝日、岡山一宮、岡山学芸館、岡山城東、岡山操山、岡山芳泉、岡山龍谷、笠岡、勝山、関西、倉敷古城池、倉敷青陵、倉敷南、西大寺、就実、高梁、玉島(県立)、津山、津山東、新見 | | |
| 広島県 | 安芸府中、五日市、AICJ、尾道北、尾道東、海田、賀茂、神辺旭、近畿大学附属広島(東広島校)、近畿大学附属広島(福山校)、呉三津田、呉宮原、高陽、庄原格致、崇徳、大門、武田、廿日市、広、広島(中等教育)、広島井口、広島工業大学、広島国際学院、広島国泰寺、広島女学院、広島新庄、広島皆実、福山、福山誠之館、福山明王台、府中、美鈴ヶ丘、三原、三次、安古市、吉田 | | |

新任挨拶

3つの教育理念の実現に向けて

教授 中林 浩子
(学校臨床心理学)



本年度より着任いたしました中林浩子と申します。私はこれまで35年間、義務教育現場や教育行政機関等で仕事をして参りました。

本学では主に、特別支援教育特別専攻科でダイバーシティ教育等、教養教職機構で教職論、教育行政論等を担当します。その他、相談支援センター長として、学生の健康相談、学習・生活相談、ハラスメント相談や合理的配慮相談などについて、相談員と共に学生の悩みを聴きながら考えを整理したり課題解決を支援したりする仕事にも携わります。

専門は学校臨床心理学で、特に生徒指導・教育相談・特別支援教育を中心に、様々な教育課題に対応できる真の力量を備えた教員に必要な要因を探る「教師の熟達化」研究に取り組んでいます。

大学教員としては駆け出しですが、本学の3つの教育理念に基づき、しなやかでたくましい人間力と理想をもった社会に貢献できる学生を育てる大学教育に寄与していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

論理的に考えることの重要性

准教授 石井 良輔
(ミクロ経済学・ゲーム理論)



本年度より経済学科に着任いたしました石井良輔(いしい りょうすけ)と申します。

2022年度の担当科目は、ミクロ経済学I・II、経済数学、情報の経済学、基礎演習、発展演習、専門演習Iです。

専門はゲーム理論で、最近はコミットメントに興味をもっております。私たちは、事前に自らの行動を縛るのは得策ではないように考えがちです。しかし、ある条件下では、それが自分にとってだけではなく、社会全体にとってより大きな幸せをもたらすことがあります。その「ある条件」とは何であるか、どういったからくりによってそのような不思議なことが起こるのかについて、できる限り論理的に明らかにしていきます。特に情報の経済学や専門演習Iの授業を受講する皆さんには、一つひとつは当たり前な理屈を積み上げていくと、最終的には多くの経済事象を統一的な論理で説明できることを体感してほしいと考えています。

実務につながる数学・コンピュータスキル

准教授 佐々木 淳
(多変数複素解析・数学教育)



本年度より着任しました佐々木淳と申します。本学では、数学入門、統計入門、教養数学A、コンピュータ活用IIそしてアカデミックリテラシーのICTスキルズを担当します。

本学に赴任する前は、防衛省海上自衛隊の教育機関で、航空機の操縦士・航空士を目指す18歳から22歳の学生に数学を教えていました。前職では、少人数によるクラス編成がなされていたので、学生1人1人に合わせた双方向の教育を展開していました。

一般的に大学の講義では学生との距離が近くない傾向にありますが、ICT等を活用し双方向の教育ができるよう工夫していきたいと考えています。

専門は多変数複素解析ですが、前職で数学教育に興味を持ち、学生の成績を分析する職務を通じて教育測定論、特に項目反応理論を軸とするテスト理論に興味を持ちました。

前職の経験を踏まえ、研究・教育・校務に従事する所存です。皆様、何卒よろしくお願ひ致します。

データの科学による研究の推進

准教授 中上 裕有樹
(データサイエンス・統計学・生物統計学)



本年度より着任しました中上裕有樹(なかがみ ゆうき)と申します。京都出身で、同志社大学文化情報学部、米国・ウェスタンミシガン大学大学院統計学科へ進みました。その後、山口大学大学院医学系研究科・助教になり、現在に至ります。データサイエンス系の新学部設置準備に向けても動きつつ、本学では主に経営データ分析やゼミ(学部)・測定と定量的方法論(大学院)を担当します。

主にここ最近では様々な個別化治療に関連する臨床データの論文執筆や論文文化に向けた統計学・データサイエンス的解析・統計的コンサルティングを行っています。消化器がんなどに対しての予後予測に有用となる様々なバイオマーカー同定などを、統計学・データサイエンス的手法及びシミュレーション法を用いて報告してきました。その他共同研究の代表・分担者として研究活動を行っています。

本学では、「研究を統計学・データサイエンス的視点で考えることの出来る人材育成」・「統計・データサイエンス手法の基礎研究」・「自然・人文社会科学領域に活かせる応用研究」を行っています。海外の大学院への進学を考えている方がおられたらお手伝いしますので、ふらっと研究室までお越し下さい。

経済学の新しい領域へのチャレンジ

特別招聘教授 川波 洋一
(貨幣論・金融論)



2016年4月に着任して以来6年間を学長・副理事長として過ごさせていただきました。国際化や情報技術革新等、大学を取り巻く環境変化のなか、いくつかの改革に取り組みましたが、それ以上のスピードで世の中が変化している現実を見て愕然といたします。

この3月に6年の任期を終了し、4月からは大学院経済学研究科の特別招聘教授として授業を担当することとなりました。教育を経済学的に分析する教育経済学領域において、「経済学特論I、II」ならびに「教育における経済問題の分析I、II」を担当します。前者では、経済学の展開のなかで、特に古典学派、新古典派経済学、ケインズ経済学、シカゴ学派、行動経済学等々、幅広く概説しています。後者では、教育の経済学的分析をまとめた研究書を院生諸君と読みながら、討論形式で授業を進めています。新たな領域ですが、真面目で熱心な院生の皆さんとともに、私自身の経済学の幅を広げていきたいと願っています。

新任挨拶

難しく考えずに、 ともかく物事を楽しみたい

特命教授 大下 丈平
(原価計算・管理会計)



新任教員の大下丈平と申します。本年2022年度から縁あってお世話になることになりました。専門は原価計算、管理会計といった領域です。どうかよろしく願いいたします。

今回、特命教授として教育・研究に励むようにとの「特命」をいただきましたが、私としては、新任教員としてまた学生と一緒に書を読み、共に議論することができる機会を与えていただいたものと心から感謝申し上げます。

研究では最初に「原価計算発達史論」に着手した後は、「フランス管理会計論」、「マネジメント・コントロール論への日本の貢献」とその研究領域を広げるなかで、フランス人研究者との交流が始まりました。それは楽しいながらも辛い日々でした。その後は、「現代フランスコントロール論の系譜」論、最近では「コントロール論から見た内部統制論」に重点を向けています。

人との出会いが学問の形を決めること、ものを知ること以上にものを楽しむことの大切さ。こうしたことを学生諸君に感じてもらうことが私に与えられた「特命」なのだと思いを巡らしています。

「鯨」を通じて下関を元気な街に!

特命教授 岸本 充弘
(捕鯨産業史・文化史)



本年度より経済学科に特命教員として着任しました岸本充弘と申します。本学では水産経済論I、IIを担当します。

専門は、近代捕鯨産業史・文化史で、本学に設置されていた鯨資料室所蔵の1次資料等を中心に、旧地域共創センター委嘱研究員として調査研究に携わってきました。また、「オーラルヒストリー」という手法で、捕鯨関連産業に従事されていた方の聞き取り調査も行ってきました。最近では、鯨の未利用部位(残渣)を有効活用し、新たな製品化につなげる実証事業や、若い世代に鯨食を普及させるためのプロジェクトにも取り組んでいます。

令和元年7月に31年ぶりとなる商業捕鯨が再会され、下関市は国内唯一の母船式(沖合)捕鯨基地となり、本市での新母船建造も決まりました。これを機に、「鯨」を通じて下関を元気な街にするための様々な手法を、皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

実社会と理論を総合した 学びと研究を

特命教授 砂原 雅夫
(地方行財政・関門地域論)



実社会での経験を生かしての実務家教員として着任しました砂原雅夫と申します。

私は40年近く地方公務員として地方行政に従事し、政策立案、地方財政、国と地方の関係への対応、国の政策と地方行政の選択、地方分権に取り組んでまいりました。また、この間、自治省

(現総務省)にも勤務する機会を得、国と地方のあり方について中央、地方の両方から見てまいりました。

一方で、下関市・北九州市を中心とする関門地域は、海峡を挟み県境を超えて一体的な生活経済圏・関門都市圏を形成している全国でも特異な地域ですが、境界をもつ行政と自由な活動を行う民間経済や住民の動きを調査研究し、下関市と北九州市とで新たな行政スタイルを試みてまいりました。

このように実社会と最新の理論研究を総合させながら、これからの地方行政のあり方や関門地域を事例に地方振興の方策について学びと研究の場を提供していきたいと思っております。何卒、宜しくお願いします。

世界の学生たちと共に学ぶつもりで

特命教授 平松 拓
(国際金融論・企業金融論)



本年度より国際金融担当教員として国際商学科に着任しました平松拓と申します。本学では国際金融論や企業金融論を実務家教員として担当する他、証券論、多国籍企業論を担当致します。

コロナ禍もあって社会には内向き志向が強まっているように感じられます。実際に、学生の皆さんにとっても留学生との交流の機会が少なくなったり、留学や海外旅行に出かけることも難しくなって、海外に目を向けにくい残念な状況になっているかと思っております。しかし、こうした中でも世界中で、国内だけを見ていたのでは感じられない変化が生じており、国際社会における日本の経済的な位置づけも刻々変化しつつあります。そして、世界の大学では実に数多くの皆さんと同世代の学生達が、それぞれの観点からこの変化を見つめ、そして変化の先を見据えるべく日々学んでいます。私の担当する科目では、こうしたことを意識しながら授業を進めていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

過去の対比を通じて学ぶ現代経済

特命教授 藤井 美男
(西洋経済史)



本年度経済学科に特命教授として着任いたしました藤井美男と申します。専門分野は古い時代の西洋経済史で、ヨーロッパの中世都市や手工業、都市と封建国家との関係などをこれまで研究して参りました。本学では1年生を主たる対象とした「経済学入門」を担当することになりました。上記タイトルにある通り、我々の生きる現代の経済社会とはどのようなものか、ということを経済史的視点も交え様々な方向から考察するという基本方針で臨んでいます。

その他には西洋史A、外書講読(英語)、演習を担当しますが、これらは私の専門知識が受講生の皆さんに分かり易く伝わるよう工夫して講義するつもりです。特に2022年度からの専門演習Iでは、「モノから見た世界史」という枠組みで、「世界商品」として取引されるようになった様々なモノの歴史を通じて「システム論」の世界を受講生の皆さんとともに勉強していくことにしました。どうぞ宜しくお願いいたします。

■2022年度予算

(単位:百万円)

| | 区 分 | 金 額 |
|-----|--------|-------|
| 収 入 | 運営費交付金 | 220 |
| | 授業料等 | 938 |
| | 入学金 | 125 |
| | 入学検定料等 | 65 |
| | 事業収入等 | 22 |
| | 寄付金 | 6 |
| | 受託事業 | 2 |
| | 補助金 | 127 |
| | 積立金取崩額 | 117 |
| | 計 | 1,622 |
| 支 出 | 一般管理費 | 326 |
| | 人件費 | 1,088 |
| | 教育経費 | 181 |
| | 研究経費 | 26 |
| | 教育支援経費 | 32 |
| | 受託事業 | 2 |
| | 計 | 1,655 |

■2022年3月～6月行事記録

- 3月 8日 一般選抜(中期日程)
- 9日 在学生オリエンテーション
- 25日 卒業式
- 4月 1日 履修登録事前エントリー(~2日)
- 健康診断(4~8、11日)
- 4日 履修登録開始(~8日)
- 5日 入学式
- 学友会入会式
- サークルセッション(7・8日)
- 大学院・専攻科新生オリエンテーション
- 6日 新生オリエンテーション
- 11日 春学期授業開始
- 26日 前期授業料納入期限
- 5月 16日 履修登録取消期間(~20日)
- 6月 1日 開学記念日
- 2日 追加健康診断
- 23日 市民大学公開講座(春学期)

■学生団体新役員



●第61回大学祭実行委員会

委員長
大原 拓海
(公共マネジメント学科3年)

副委員長
濱崎 琳
(経済学科2年)

※他の新役員は第96号に掲載

下関市立大学
オープンキャンパス2022

8/6(土)・7(日) 10:00~15:00

※事前予約制

参加者全員に
オリジナルグッズ
プレゼント!!

無料ランチ券
配付

大学紹介

- 大学概要
- 就職状況
- キャンパスライフ:学生視点からのキャンパス情報。



入試説明会

今年度の実施状況と次年度の入試情報。



学科説明・模擬講義

本学の教員とゼミ生による学科紹介。



小論文対策講座

本学の小論文試験の傾向と対策について。



個別相談

入試や大学生活、就職など、いろいろな疑問に教職員がお答えします。



市大生と語ろう

授業やサークルのことなど、在学生と気軽に雑談を。

学内ツアー

学生とおしゃべりをしながら、学内を散策。

学生食堂(無料ランチ)

学食の人気メニューを味わえます。

無料送迎バス運行

最寄駅(JR幡生駅・新下関駅東口)から運行。

『オープンキャンパス2022』への参加は、事前に予約が必要です。右記QRコードを読み取り、予約サイトよりお申し込みください。

